

時代を聖書で見る⑮

= 霊の祈りと神の答え =

- ①私たちの位置:啓示録における第5の封印辺り(黙示録6:10)、ダニエルの第70週の開始の直前;第6の封印で神と子羊の大いなる怒りの日(=大艱難の開始)
- ②幕屋の構造:<外庭→聖所→至聖所>=<体→魂→霊>
- ③香壇の位置の違い:出エジプト30章6-7節vsヘブル9章3-4節
→新約では至聖所に置かれている=霊から立ち上る祈りは香(エペソ6:18;ローマ8:26)
- ④神の御座の前の大群衆(黙示録7:9-17)
- ・血で洗われた白い衣を着、玉座の前で神に仕える→祭司として
 - ・子羊が幕屋となって、彼らを守る(ヨハネ1:14)
 - ・飢え、渇き、太陽も襲うことがない
 - ・子羊が牧者、いのちの泉へと導き、涙をぬぐう
- ⑤第七の封印:金の香炉と聖徒らの祈り(=香)→天使が祭壇に捧げる→祭壇の火を満たし、地に投げられる(cf.2ペテロ3:7)→天変地異
- ⑥私たちの祈りの意義:主の来臨を早める(2ペテロ3:7;エペソ5:19;コロサイ3:16)
- ⑦来るべき都の幻にとらえられる(ヘブル11:10)→花嫁たる新エルサレムの用意